

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和6年 6月 24日

都道府県知事
(市長) 大分県知事 殿

提出者



住 所 熊本県宇城市豊野町巣林538
氏 名 株式会社 エギモトファーム
代表取締役 杉本 侑次郎
(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)
電話番号 0964-45-2611

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	(株)エギモトファーム 山香牧場
事業場の所在地	大分県杵築市山香町野原3-4657-379
計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	01 農業
② 事業の規模	成牛 528頭
③ 従業員数	2人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	動物の糞尿 ①自己で堆肥化 ②処理業者へ委託し処理 動物の死体 ①処理業者へ委託し処理

(日本工業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

場長(廃棄物統括責任者)が全て行う。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度 (R5年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	動物の糞尿	家畜の死体
	排 出 量	4823 t	1.4 t
	(これまでに実施した取組)		
該当なし			
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動物の糞尿	家畜の死体
	排 出 量	4500 t	0.5 t
	(今後実施する予定の取組)		
該当なし			

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
	該当なし
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
	該当なし

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度 (R5年度) 実績】	
① 現状	産業廃棄物の種類 動物の糞尿
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量 3000 t - t
(これまでに実施した取組)	
堆肥化	
【目標】	
② 計画	産業廃棄物の種類 動物の糞尿
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量 3000 t - t
(今後実施する予定の取組)	
堆肥化	

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度 (R5年度) 実績】	
① 現状	産業廃棄物の種類 動物の糞尿
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量 - t - t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量 1400 t - t
(これまでに実施した取組)	
該当なし	
【目標】	
② 計画	産業廃棄物の種類 動物の糞尿
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量 - t - t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量 1500 t - t
(今後実施する予定の取組)	
該当なし	

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

		【前年度（R5年度）実績】		
		産業廃棄物の種類		
① 現状	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量		- t	- t
(これまでに実施した取組)				
該当なし				
② 計画		【目標】		
		産業廃棄物の種類		
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量			- t	- t
(今後実施する予定の取組)				
該当なし				

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

		【前年度（R5年度）実績】		
		産業廃棄物の種類	動物の糞尿	家畜の死体
① 現状	全処理委託量		423 t	1.4 t
	優良認定処理業者への処理委託量		- t	1.4 t
	再生利用業者への処理委託量		423 t	- t
	認定熱回収業者への処理委託量		- t	- t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		- t	- t
(これまでに実施した取組)				
動物の死体 処理業者へ委託し処理				
動物の糞尿 処理を委託する場合は今後も委託業者へ委託する				

②計画		【目標】		
		産業廃棄物の種類	動物の糞尿	家畜の死体
		全処理委託量	-t	0.5t
		優良認定処理業者への 処理委託量	-t	0.5t
		再生利用業者への 処理委託量	-t	-t
		認定熱回収業者への 処理委託量	-t	-t
		認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	-t	-t
(今後実施する予定の取組)				
※事務処理欄				